

# 岐阜大学地域システム計画研究室の 地域協働型まちづくり

岐阜大学工学部社会基盤工学科  
地域システム計画研究室

発表者: 下岡 雄一、原田 剛志、丸山 竜平



## 地域システム計画研究室

高木朗義教授 倉内文孝准教授 出村嘉史准教授 北浦康嗣助教授

所属人数: 32人

(教員: 4名、研究員: 1名、博士後期課程: 3名、博士前期課程: 12名、学部4年生: 12名)

### 主な研究テーマ



### 【防災・まちづくりに関する研究】

持続可能なまちづくりを支える人々のネットワーク  
—岐阜県恵那市岩村町を事例として— など

### 【環境・経済に関する研究】

防災意識向上のための埋没便益への気付き など

### 【交通に関する研究】

アクセシビリティを考慮した岐阜県道路ネットワーク  
の接続脆弱性評価 など

### 【景域に関する研究】

東海自然歩道の建設とその背景 など



# 地域活性化システム論

**ネットワーク大学  
コンソーシアム岐阜**

いつでもどこでも、だれでも大学の講義が受けられる！

聴講生  
(社会人・高校生)  
募集

平成22年度  
**前学期共同授業**

- ◆ 地域活性化システム論
- ◆ 少子社会を考える

**ネットワーク大学コンソーシアム岐阜とは**

岐阜市内の大学・短大・専門学校等と岐阜県が共同して運営している共同  
体です。情報通信技術を利用して「いつでもどこでも、だれでも」高等教育  
を受講できる機会を創出することを目的としています。

**「共同授業」とは**

外部の講師を交えた大学の講義を、対面授業・テレビ会議システムによる  
双方同時開催・インターネット・ラーニングの3方式により提供するもの  
です。ネットワーク大学コンソーシアム岐阜参加大学の学生と一揃に、  
社会人、高校生の方も受講していただけます。

**ネットワーク大学コンソーシアム岐阜への参加大学等 (21校)**

岐阜大学	岐阜県立看護大学	岐阜県立経済大学	岐阜県立理工学
岐阜女子大学	中部学院大学	岐阜県立短期大学	岐阜県立女子大学
岐阜学院大学	岐阜学院大学	岐阜学院大学	岐阜学院大学
岐阜学院大学	岐阜学院大学	岐阜学院大学	岐阜学院大学

平成22年度前学期ネットワーク大学コンソーシアム岐阜共同授業科目

GIFU network University Consortium

## 地域活性化システム論

担当 大学 岐阜大学  
授業コーディネーター 工学部 高木 朗貴 教授  
実施 日 毎週月曜日 14:30-18:00  
会 場  
主会場：岐阜大学 全学共通教育講義棟102講義教室  
サテライト会場：コンソーシアム岐阜講義室  
(岐阜県関西ふれあい会議棟2階09号)  
岐阜駅サテライト教室 (JR岐阜駅 アクトシティG2階)  
eラーニング：(インターネット)

**科目内容**

現在および将来に亘って、地域活性化を担うリーダーおよびその候補が、地域活性化やまちづくりを実践するための方法論や技術、および支援制度や先進事例におけるやり方や仕組みなどの知識を習得し、今後のまちづくりに貢献できる力を付けることを目標に、地域活性化・まちづくりをリーダーとして実践できる人材、すなわち、まちづくりを推進していく際、中心的役割を果たす人材を養成します。

**講義日程・講師**

【都合により日程等は変更されることがあります。】  
コンソーシアムホームページ <http://www.gifu.ac.jp/> でご確認ください。

1 4/12 (月)	2 4/19 (月)	3 4/26 (月)	4 5/3 (月)	5 5/10 (月)	6 5/17 (月)	7 5/24 (月)	8 5/31 (月)	9 6/7 (月)	10 6/14 (月)	11 6/21 (月)	12 6/28 (月)	13 7/5 (月)	14 7/12 (月)	15 7/26 (月)
地域活性化の取り組み、 地域活性化システム論の趣旨・意図	全国の 地域再生・活性化事業の事例	協働型まちづくりのデザイン	いろいろなアイデア発想法	インターンシップを通じた 地域活性化	まちづくりリーダーのための ファシリテーション	プロデュース(企画)力を磨こう	地域活性化に向けて ～岐阜県の取組と岐阜県内の事例～	グループ演習(1) 「まちづくりのための地域調査をしよう」	まちづくり・地域活性化の事例	地域活性化における ソーシャルビジネス	グループ演習(2) 「地域活性化事業計画書の作成」	我が国の観光戦略とまちづくり	事業計画書づくりと プレゼンテーション	「個人で地域活性化事業計画書 を作成しよう」
講師等 岐阜大学工学部教授、高木 朗貴 (内閣府特任)	講師等 岐阜大学工学部教授、高木 朗貴 (内閣府特任)	講師等 社会地域問題研究科主任研究員、池田 哲也	講師等 岐阜大学工学部教授、高木 朗貴	講師等 NPO法人G-net、秋元 祥治	講師等 バスケカ・ハーツ(株)代表取締役、水谷 香織	講師等 社会地域問題研究科主任研究員、池田 哲也	講師等 岐阜県観光交流推進部長、西田 菜穂子	講師等 岐阜大学工学部教授、高木 朗貴	講師等 岐阜大学工学部教授、高木 朗貴 (内閣府特任)	講師等 NPO法人G-net、秋元 祥治	講師等 岐阜大学工学部教授、高木 朗貴	講師等 観光庁長官、溝畑 亮	講師等 池田 哲也、水谷 香織、秋元 祥治、高木 朗貴	講師等 池田 哲也、水谷 香織、秋元 祥治、高木 朗貴

\*希望者は、講義時間外に地域活性化・まちづくりの現地視察を実施します。

# 地域活性化システム論

## 地域活性化のための取り組み・事例



## ファシリテーションの必要性



## アイデアの発想法

### 発想法の4つの基本形

- ◆ 分析した情報から発想する方法
  - 現在あるものや、これから作ろうとしている分野などを分析し、その情報をもとにアイデアを考える方法。
- ◆ 連想や刺激から発想する方法
  - 刺激材として写真やビデオなどの映像資料を使うもの、言葉の刺激によるもの、他の業界から刺激を受けるもの、街中に出て発想するもの、などがある。
- ◆ 図に描いて発想する方法
  - 視覚による刺激を使う方法。描くことによって全体像を把握しやすくなったり、右脳を活性化させたりする効果もある。
- ◆ 発想を転換させる方法
  - 逆転の発想をしろと言われても、簡単にできるものではない。頭の中にしみ込んだ常識が障害となるため、常識を外して考えようとする方法。

地域活性化システム論～まちづくりリーダー養成講座 高木朗貴@岐阜大学 2009.5.11

## 企画力・事業計画書の作成



# 地域活性化システム論

地域活性化事業計画書(地区: 御嵩地区)

活動テーマ (キーワード) **Mitake fantasy land**

事業の目的 大学生と地域の人が協力し、イベントを開催することで、幅広い年代の人に御嵩町に来てもらう

成果目標 広見線の利用者を45%増やす

具体的な事業内容

- 御嵩町、名鉄広見線御嵩駅周辺1.5km
- 御嵩町の人のため → 広見線を必要としている
- 名鉄広見線の切符、自然、歴史 etc...
- 地域の人
- ファンタジーランドの建設(大学、病院 etc)
- 大学主催と地域の人と連携したイベントを月に1回行う
- 年に1回ファンタジーランドフェスティバル的な...
- Webや広告を使って活動を報告
- 県内の大学と協力の活動を行う

年間スケジュール

実施する事柄	1月	月	月	8月	月	月
イベント準備 (in 大学)	←					→
祭りの計画・準備(全体)	←					→
Web. 広告と宣伝	←					→
御嵩HPに	←					→
大学語地のための準備	←					→
広見線の切符をどう活用していくか	←					→
御嵩町の人への依頼	←					→

課題

- 土地、資金、地域の人々の理解
- 誘致する施設

収支の概要

およその収入		およその支出	
費目	金額	費目	金額
広見線利用料		広告費	10万
生まれる人的価値 (協力、団結) → priceless...		施設建設	1億
合計		合計	

## 地域システム計画研究室のまちづくり活動

- 夏ゼミ 2008 in 石徹白(郡上市)
- 夏ゼミ 2009 in 小坂(下呂市)
- 岩村景観まちづくりワークショップ(恵那市)
- すのまた景観ワークショップ(大垣市)
- 日置江地区自主防災活動(岐阜市)
- 種蔵そば祭り写メールコンテスト(飛騨市)
- 夏ゼミ 2010 in 岩村「ザ・縁日」(恵那市)



ワークショップ



ニューズレター



イベント

## 夏ゼミ ー地域の魅力探しー

### 石徹白 (いとしろ)

- ◇住民の人と一緒に村が抱える問題点を話し合った。
- ◇村を歩いて、学生の目から見た「いいもの」を探した。

(2008年)



### 小坂 (おさか)

- ◇岐阜の宝物一号の滝を見学し、まちの中へ人が流れず、滝を見ただけで帰ってしまう現状があることを確認した。
- ◇住民の人と一緒にまちを歩いて、グループワークで、まち興しの提案を行った。

(2009年)



## 恵那市景観まちづくりワークショップ (2009年)

恵那市の**景観計画策定**のため、  
京都大・早稲田大・日本大とともにワークショップを行った。

住民の人たちと**景観資源**を確認して、  
後世に引き継いでいく景観や地域の魅力を話し合った。



《対象地》 岩村・明智・山岡・富田



# 恵那市景観まちづくりワークショップ（2009年）



住民の人たちが選んだ、  
残したい風景、大事な風景

## ワークショップ × 公共政策デザイン

学生は、来年の「公共政策デザインコンペ」に向けて、**墨俣**地域に貢献できる公共政策の内容を検討している。



すのまた景観まちづくりワークショップ

出村嘉史先生は大垣市景観アドバイザーとして**墨俣**地域を対象に、まちづくりのワークショップの運営を委託されている。



ワークショップ + 準備 + 計画

出村先生とともに、研究室のメンバーが、  
地域が抱えている問題を考えている。



# 本年度の取り組みの紹介

## ・防災訓練【日置江】



◇目的:自分達の住んでいる地域に起こり得る災害について知ってもらう。

◇内容:小学生を対象にエツキーの作成した。作成したエツキーを使って、地盤の液状化が発生する様子を観察する実験を行った。

## ・携帯写メールコンテスト【種蔵】(新そば祭り)



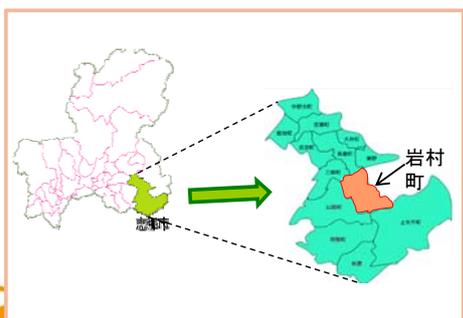
◇目的:種蔵地区以外に住んでいる方には種蔵の魅力を発見し味わってもらい、種蔵地区の住民の方には外から種蔵を見た時の魅力について知ってもらう。

◇内容:携帯のカメラ機能を使って種蔵の写真を撮影してもらいweb上のサイトに投稿してもらう。その写真をコンテスト形式で掲載し投票。

# 本年度の取り組みの紹介

## ・夏ゼミ(縁日)【岩村】

～楽しく工作、楽しく防災～



災害発生時に安全を確保してもらいたい。  
そのために、防災意識を高めてもらう必要がある。

しかし...  
現状の講習会のような防災教育では、住民の方の防災意識向上は難しい。

岩村地域の「縁日」で、主に子どもたちを対象に、**工作教室**と称したブースを設け、簡単な防災グッズを作る。

楽しい工作を通じて、子どもたちや親御さんに防災のことを考えるキッカケを与える。

# 縁日での防災教育の経緯

- 「防災」について興味をもってもらうために縁日で防災教育を行うことにした。
- 竹内 裕希子先生(京都大学大学院地球環境学堂 特定助教博士)にアドバイスをいただき、**エツキー**作りなどを通して防災教育を行うことに決定。



竹内先生によるタツマツキーの実践風景

H22 7.22  
竹内 裕希子先生に「エツキー」、「ゆらゆら」、「空気砲」、「タツマツキー」などの防災教育具グッズについて指導していただきました。



## 防災グッズの例

### エツキー

地震が発生した時に起こる「地盤液状化」という現象がどのようなものか見ることでできる装置。

#### 必要なもの:

- ・ペットボトル（炭酸系のペットボトルが良い）
- ・砂（粒径の均一なものが良い）
- ・ピン（頭がプラスチックのもの）
- ・シール（完成後、キャップに貼る）
- ・水
- ・流し上手（砂用・水用の2つ）

※開発:

独立行政法人  
防災科学技術研究所防災システム研究センター



ワークショップ ～防災グッズを作ろう!!～

### えつきー ～地盤液状化実験ボトル～

**使い方**

- その1. ひっくりかえす。
- その2. 砂が完全に落ちるまで待つ。
- その3. 指でボトルをたたく。

**かいせつ**

静かにしずんだ砂の層には、すき間がいっぱいあります(①)。ボトルゆらすと、そのしよげきで、砂つぶの結合がはなれ、砂つぶは水の中に一瞬浮きながらそのすき間を埋めるように沈みます(②)。

このとき、砂つぶどうしがくっつき合うまでの間、砂の層には物を支える力が全くなくなります。このような状態になることを**液状化**といいます。

液状化が起ると、水は砂つぶを浮かせている分だけ水圧上がり、みかけ上、重たい液体になります。この結果、水に浮かない物でも液状化によって浮き上がります。

① 通常時  
② 通過時  
③ 浮き出で来た!!

水で満たされた地面の中の土の粒  
振動を与えると...  
地震が起ると土の粒が動いてしまう。

2019/8/13 岐阜大学地域システム計画研究室

当日配布したPOP

# 岩村の縁日



縁日のポスター



縁日 各ブースの様子



縁日 ステージ



縁日の出店に混じる防災教育ブース

岩村での縁日の様子。  
縁日の会場は岩邑中学校のグラウンドで、岩村城のモニュメント、ステージ、出典ブースなどがグラウンドを取り囲む形の会場となっていた。



# 防災教室の様子



エツキー



タツマツキー



ゆらゆら



空気砲

## 作成の様子(エッキー ver。)



## ブースの様子



# 研究室での地域連携 ～まとめ～

## INPUT [学ぶ]

- 地域活性化システム論
- ゼミなどでの議論
- …など

## OUTPUT [実践]

- 夏ゼミ
- ワークショップ
- 防災訓練
- …など

研究室として、地域にどう関れるかを考え、  
さまざまな取り組みを行っています。

